議長・副議長あいさつ

議長就任　御挨拶

議長　横田　孝穂

白馬村議会議員改選後の初議会において議会構成が行われ、不肖私が議長の大役を務めることになり、誠に身に余る光栄と存じますと共に、その責任の重さを痛感しております。もとより浅学非才、その器ではありませんが、村民各位のご支援、ご協力をいただき、議長としての責務を努めたいと思っております。

21世紀は、環境と福祉の世紀と言われておりますが、長引く経済不況に起因するスキー産業の低迷等白馬村を取り巻く環境は、非常に厳しいことばかりであります。特に、観光振興の取組と、命をつなぐ松本・糸魚川連絡道路の早期実現でありますが、平成６年からの波田町案また豊科北ルート案から糸魚川市までの運動はすでに、19年の月日が流れております。残念なことに、いまだ完成年度が明確にならない状況のなかでの運動であります。一日も早い早期実現を目指すべきであります。

また、少子高齢化対策、人口の減少など課題は山積しております。自由闊達な議論を通じ、合意形成に努めて参りたいと思います。

前議会に於いても議会活動の一環として、婦人会・老人クラブ・商工会・教育委員会等と懇談会を実施して参りましたが、引き続き各種団体との貴重なご意見・ご提言をいただき、行政に反映し、住民に公正な村政の実現と安心・安全・活力ある村づくりに努めて参りたいと思います。村民の皆様の一層のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げ就任の挨拶といたします。

就任ご挨拶

副議長　北澤　禎二郎

この度の改選により副議長に選任されました。議員としては新人ですが、自身の人生経験を生かし議長を補佐し、非力ですが重責を全うしてまいりたいと思います。なお一層の村民の皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。

さて、今の白馬村は、下水道受益者負担金の未収金問題に始まり、難しい問題が山積しています。長引く不況の中、人の経済状況に左右される観光産業は、なかなか安定してまいりません。白馬村では、この主体である観光産業を、見直す事と方向転換する事を考えなければならない時機がきていると思いますが、今から産業構成を見直し、方向転換する事は、不可能であると考えます。その上で急がなければならないのは、いかに観光産業を立て直すかにあると思います。観光客も冬季シーズンが思わしくない中、夏季のお客さんの伸びが大きくなってきておりますが、宿泊施設の売り上げがピーク時の３分の１から４分の１以下に落ち込んでいるのが気になります。

アベノミクスの効果で、この観光不況が回復するまで持ちこたえられないのではないのか、心配されるところです。観光地白馬の特色をどう出していくか、従来の発想から離れた新たな知恵の出しどころであると思います。若者や高齢者をいかに白馬に足を向けさせるか、村民の皆様と行政と議会が一体となって取り組む一番大切な課題ではないのかと思います。そんな状況の中で、多方面でいろいろな問題があり議会の役割はますます大きくなってまいります。

横田議長を中心に・名の議員が、それぞれの立場を尊重する中で議論をつくし、より良い白馬村をつくるために村民の皆様の意見に耳を傾け、開かれた議会を目指し一致団結し努力していきたいと思います。

白馬村議会　議事堂